

科目ナンバリング：USE-1-151-02/UTL-1-301-01

**■授業の目的及び到達目標**

教育の基本的概念や理念にどのようなものがあるのか、教育の歴史や思想を通して学ぶことが目的である。そして、それら教育の基本的概念、教育の歴史に関する知識、教育に関する思想を身につけ、それらの概念・知識を活用し実際の教育や学校における諸問題を考えることができるようになることが到達目標である。

**■授業計画**

- 1 教育原理とは何か  
教育の基本的概念や理念などこの講義で学習する内容について概観するとともに教育の意義や教職の使命についても考える。
- 2 教育とは何か  
教育の本質と目標、教育学の諸概念について、これまで提起されてきた代表的な教育家の思想などを取り上げながら考える。
- 3 子どもの発達と教育  
子どもの発達と家庭や教員、学校の関わりについて考え、あわせて家庭や子どもに関わる教育思想について概観する。
- 4 家族と社会による教育の歴史  
学校以外の家族と社会、共同体などによって担われる子育て、教育の歴史を振り返り、理解する。
- 5 教育の歴史と思想（1）  
古代ギリシャの教育史・教育思想について理解する。
- 6 教育の歴史と思想（2）  
中世ヨーロッパの教育史・教育思想について理解する。
- 7 教育の歴史と思想（3）  
近代ヨーロッパの教育史、近代公教育の成立とその特徴について理解する。
- 8 教育の歴史と思想（4）  
近代教育制度、学校や学習に関わる教育思想などをふり振り返りながら学校の果たしてきた機能・役割に関する理解を深めていく。
- 9 日本における教育の歴史（1）  
古代・中世・近世における日本の学校及び教育の歴史について理解する。
- 10 日本における教育の歴史（2）  
日本における近代公教育の成立から大正自由教育など近代日本の教育史について理解する。
- 11 日本における教育の歴史（3）  
戦後日本の教育の歴史を振り返りながら、最近の教育政策の動向について理解する。
- 12 現代における教育の課題（1）  
ゆとり教育、学力低下問題、学力に関する代表的な教育家の思想などをふり振り返りながら現代社会における教育課題として学力とは何かについて考える。
- 13 現代における教育の課題（2）  
現代社会における重要な教育課題であるいじめについて、その歴史をたどりながら、その予防、対応法などについて考える。
- 14 現代における教育の課題（3）  
不登校、体罰など現代社会における重要な教育課題について、その歴史をたどりながら、あるべき指導法などについて考える。
- 15 講義のまとめと試験  
教育の理念、教育に関する歴史、思想に関してまとめ、教職の意義について確認する。試験後、フィードバックとしての解説も行う。

**■授業の方法**

授業は講義形式を基本として進めるが、随時受講生に質問し、回答を求めていく。テーマによってはグループ討議などを行うこともある。受講生には主体的、積極的に授業に参加することを求める。

**■予習・復習**

授業時、または Blackboard で課題、または次回のレジュメを示す。その課題を行う、またはレジュメを読み、わからない箇所をチェックすることで予習とする。授業後は参考図書などで講義内容を確認することで復習とする。

**■成績評価の方法（成績の評定方法、授業態度、レポート等の扱い）**

試験、小テスト、授業中の態度や授業への取り組み状況などから評価を行う。評価の割合は試験の成績を 70%、小テストを 15%、授業中の態度・取組状況を 15%として総合的に評価する。

**■教科書・参考書**

田嶋一ほか編『新版補訂版 やさしい教育原理』（有斐閣アルマ）。  
井藤元『ワークで学ぶ教育学』（ナカニシヤ出版）。  
そのほかテーマごとの参考図書は授業時に示す。

**■関連する科目**

教職論、教育史、教育社会学、教育課程論、特別支援教育論、道徳教育指導論、総合的な学習の時間指導論、教育方法など教職課程に関わる科目すべて。